



## パリの風をプリザに込めて

I.F.P.E.代表  
アトリエベルファム主宰

小路博子



1995年から98年までの3年余、主人の仕事の関係で、凱旋門とエッフェル塔の中間地区、16区トロカデロ広場近くのアパルトマンで生活をした。パリでの生活は、息子が手のかかる2歳～5歳の時だったので、大変なことも多かったが得がたい経験をした。ルーブル、オルセー、オランジュリーをはじめ大小の素晴らしい美術館がたくさんあり、またデコラティブな建造物の数々、街中がアートで暮らしていてとても楽しい街であった。息子を現地の幼稚園に送ったあと、お迎えの3時半までが私の楽しい学びの時間！フランス料理、ワイン、そして今の仕事につながるお花。パリ7区のプロのフローリストを養成する歴史ある学校で学んだ。またヨーロッパ各地を旅行し、多くの素晴らしい芸術と出会うことも出来た。

パリから帰国して西宮市苦楽園に住みはじめた10年前、プリザーブドフラワーと出会った。プリザーブドフラワーは1991年、フランスのヴェルモン社がパリで発表した花で、日本に輸入されたのは2000年頃になる。“プリザーブド”とは“保存された”という意味で、生花の最も美しい時に特殊加工された花で、水も光もいらず長期間楽しむことができる。私は“お手入れいらずで長持ちするから”という単純な理由から習いはじめ、’04年にディプロマを取得。苦楽園の自宅で教えはじめた。教室の名前を「アトリエ・ベルファム」とした。“ベルファム”とはフランス語で“美しい女性”という意味だが“精神的に気高い女性”という意味あいがある。そういう女性を目指したいという思いがあった。その後ラジオ大阪カルチャーサロン（弁天町）、宝塚アピアカルチャー、コープカルチャー塚口、住吉等カルチャーでもレッスンするようになり、生徒さん達の将来の独立、スクール運営を応援するため、またずっと学び続

けられる場を提供したいという思いで、’06年にI.F.P.E. (Institut d’art floral Paris-Europe) 「パリ・ヨーロッパスタイル花芸術学院」という協会を設立することになった。学院では、プリザーブドフラワーの講師の資格が得られる、I.F.P.E.ディプロマコース、インストラクターコースの他、ブラッシュアップ、マリアージュ、フレッシュフラワー等、多くのクラスがある。また外部協会の資格を取得できる、トリートメント（自分でプリザーブド加工をする講座）、イタリアンデコパージュのコースもあり、意欲的な生徒達が学んでいる。’08年には六本木ヒルズでのパリスタイルエキジビジョンに展示参加。’09年9月はパリ研修にてステファン・シャペル氏等著名なフローリストに師事、12月はフレンチの鉄人坂井氏の「ラ・ロシェル渋谷店」でのクリスマスディスプレイ。’11年には大阪リーガロイヤルホテルギャラリーでの展示会等活発に活動を展開してきた。

今後も一人一人の生徒さんを大切に、学び続ける楽しさを追求しながら、パリの風をプリザに込めて、多くの方々に癒していきたいと願っている。

### プロフィール

1995～98年 パリ7区「エコール・フランセーズ・ド・デコレーション」で学ぶ

2006年 I.F.P.E. (パリ・ヨーロッパスタイル花・芸術学院) 設立

I.F.P.E.代表、アトリエベルファム主宰

デコパージュ美術工芸協会認定講師

日本バイオフィラワー協会認定講師

色彩士 (カラーマスター)